

平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年1月30日

上場会社名 株式会社 さくらパートナー
 コード番号 8514 URL <http://www.sakura-partner.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 勝久
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部部長 (氏名) 高谷 則章
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日 配当支払開始予定日 未定

上場取引所 札

TEL 011-622-1515

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	850	—	312	—	317	—	208	—
20年3月期第3四半期	1,326	△38.1	△1,581	—	△1,552	—	△2,497	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	22.77	—
20年3月期第3四半期	△272.45	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	7,985	3,305	41.4	360.65
20年3月期	9,869	3,134	31.8	341.98

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 3,305百万円 20年3月期 3,134百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,030	△37.9	10	—	30	—	30	—	3.27

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

[(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	9,714,000株	20年3月期	9,714,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	547,780株	20年3月期	547,780株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年3月期第3四半期	9,166,220株	20年3月期第3四半期	9,166,220株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針14号)を適用しております。また「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期会計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライム問題に端を発した世界的な金融市場の混乱が、国内経済にも波及し始めたことから、企業収益は急激に悪化し、個人消費も弱含みで推移するなど、景気の後退懸念が鮮明となりました。

当業界は利息返還請求が依然として高水準にあるなど、事業環境は厳しさを増しております。

また企業金融事業においては、景気後退による企業倒産が増加しており、貸倒リスクが懸念されるなど、当社を取り巻く事業環境は厳しい状況となっております。

企業金融事業は、営業貸付金残高が期中183百万円減少し2,040百万円（前期末比8.3%減）となりました。

消費者金融事業は、営業貸付金残高が期中1,727百万円減少し2,740百万円（前期末比38.7%減）となりました。

この結果、当第3四半期会計期間の経営成績につきましては、営業収益は850百万円（前年同期比35.9%減）、営業利益は312百万円（前年同期は15億81百万円の営業損失）、経常利益は317百万円（前年同期は15億52百万円の経常損失）となりました。また投資有価証券評価損16百万円を計上し、四半期純利益は208百万円（前年同期は24億97百万円の純損失）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産額は7,985百万円となり、前事業年度末と比較し1,884百万円減少いたしました。主な要因は、営業貸付金の合計残高が1,910百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は4,679百万円となり、前事業年度末と比較し2,055百万円減少いたしました。主な要因は、借入金を1,390百万円返済したことなどによるものであります。

純資産合計は3,305百万円となり、前事業年度末と比較し171百万円増加いたしました。主な要因は、当四半期純利益208百万円の計上による増加などであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期会計期間の業績は、概ね期初の計画通り推移しておりますが、高止まり状況にある利息返還請求をはじめとし当社を取り巻く事業環境は厳しさを増しており、平成20年5月15日に公表いたしました通期業績予想から変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除去等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,493,004	1,583,255
営業貸付金	4,781,104	6,692,084
営業投資有価証券	119,856	119,856
売掛金	594	—
その他	150,252	177,482
貸倒引当金	△395,869	△710,463
流動資産合計	6,148,942	7,862,214
固定資産		
有形固定資産	537,996	548,170
無形固定資産	17,396	39,390
投資その他の資産		
その他	1,311,591	1,487,673
貸倒引当金	△30,248	△67,583
投資その他の資産合計	1,281,343	1,420,089
固定資産合計	1,836,737	2,007,650
資産合計	7,985,680	9,869,864
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	256,000
買掛金	410	—
1年内返済予定の長期借入金	849,172	1,294,860
未払法人税等	5,656	15,552
その他	21,225	25,600
流動負債合計	876,464	1,592,012
固定負債		
長期借入金	603,474	1,292,312
利息返還損失引当金	3,055,301	3,681,642
役員退職慰労引当金	55,991	53,395
退職給付引当金	23,404	23,236
その他	65,209	92,587
固定負債合計	3,803,380	5,143,173
負債合計	4,679,845	6,735,186

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,867,860	1,867,860
資本剰余金	1,408,930	1,803,518
利益剰余金	208,779	△394,588
自己株式	△199,910	△199,910
株主資本合計	3,285,659	3,076,879
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20,176	57,798
評価・換算差額等合計	20,176	57,798
純資産合計	3,305,835	3,134,678
負債純資産合計	7,985,680	9,869,864

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業収益	
営業貸付金利息	775,881
売上高	1,512
その他の金融収益	2,803
その他の営業収益	69,843
営業収益合計	850,042
営業費用	
金融費用	53,235
売上原価	973
その他の営業費用	483,301
営業費用合計	537,510
営業利益	312,532
営業外収益	
有価証券利息	6,000
受取配当金	1,760
その他	5,398
営業外収益合計	13,159
営業外費用	
投資事業組合運用損	6,714
その他	1,397
営業外費用合計	8,112
経常利益	317,579
特別利益	
前期損益修正益	8,000
貸倒引当金戻入額	1,200
その他	52
特別利益合計	9,252
特別損失	
投資有価証券評価損	117,174
その他	1,000
特別損失合計	118,174
税引前四半期純利益	208,656
法人税、住民税及び事業税	712
過年度法人税等戻入額	△835
法人税等合計	△123
四半期純利益	208,779

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	208,656
減価償却費	33,222
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△351,929
受取利息及び受取配当金	△4,564
支払利息	41,824
営業貸付金の増減額 (△は増加)	1,910,979
利息返還損失引当金の増減額 (△は減少)	△626,341
その他	175,193
小計	1,387,042
利息及び配当金の受取額	4,139
利息の支払額	△40,112
法人税等の支払額	△16,310
法人税等の還付額	835
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,335,594
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△182,000
定期預金の払戻による収入	282,000
その他	△35,104
投資活動によるキャッシュ・フロー	64,895
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△256,000
長期借入金の返済による支出	△1,134,526
配当金の支払額	△214
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,390,740
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,748
現金及び現金同等物の期首残高	1,371,255
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,381,004

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年6月27日付で、資本準備金、利益準備金、別途積立金及びその他資本剰余金を減少させ、欠損の填補を行っております。この結果、当第3四半期累計期間において、資本準備金が387,719千円、利益準備金が92,169千円、別途積立金が2,613,000千円、その他資本剰余金が6,868千円減少し、当第3四半期末において資本金が1,867,860千円、資本準備金が1,408,930千円、繰越利益剰余金が208,779千円となっております。

「参考」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 第3四半期損益計算書

区分	前第3四半期会計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年12月31日)	
	金額(千円)	百分比(%)
I 営業収益		
1 営業貸付金利息	1,285,762	
2 その他の金融収益	3,205	
3 その他の営業収益	37,488	
営業収益合計	1,326,456	100.0
II 営業費用		
1 投資原価	177,251	
2 金融費用	101,273	
3 その他の営業費用	2,629,120	
営業費用合計	2,907,646	219.2
営業利益又は 営業損失(△)	△ 1,581,189	△ 119.2
III 営業外収益	41,528	3.1
IV 営業外費用	12,576	0.9
経常利益又は 経常損失(△)	△ 1,552,237	△ 117.0
V 特別利益	55,462	4.2
VI 特別損失	844,262	63.6
税引前四半期(当期) 純損失(△)	△ 2,341,037	△ 176.4
法人税、住民税及び事業税	712	
過年度法人税等戻入額	△ 2,286	
法人税等調整額	157,887	11.9
四半期(当期)純損失(△)	△ 2,497,350	△ 188.3

(2) 第3四半期キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期会計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1. 税引前四半期純損失(△)	△2,341,037
2. 減価償却費	40,713
3. 貸倒引当金の増減額	△246,684
4. 利息返還損失引当金の増減額	1,232,739
5. 貸倒償却額	637,998
6. 利息返還損失額	244,394
7. 投資有価証券売却益	△16,090
8. 受取利息及び配当金	△37,927
9. 支払利息	89,244
10. 投資有価証券評価損	774,719
11. 営業投資有価証券評価損	177,251
12. 営業貸付金の貸付額	△1,491,638
13. 営業貸付金の回収額	2,671,010
14. 抱合せ株式消滅差益	△25,999
15. 抱合せ株式消滅差損	68,918
16. その他	△80,882
小計	1,696,727
17. 利息及び配当金の受取額	44,784
18. 利息の支払額	△85,753
19. 法人税等の支払額	△172,986
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,482,771
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1. 有形固定資産の売却による収入	83,436
2. 投資有価証券の取得による支出	△295,869
3. 投資有価証券の売却による収入	26,200
4. 定期預金等の預入による支出	△211,000
5. 定期預金等の満期による収入	286,000
6. その他	121,811
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,578

	前第3四半期会計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額(千円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1. 短期借入による収入	1,056,000
2. 短期借入金の返済による支出	△ 1,600,000
3. 長期借入による収入	100,000
4. 長期借入金の返済による支出	△ 1,822,493
5. 自己株式の取得による支出	△ 77
6. 配当金の支払額	△ 36,461
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,303,031
IV 現金及び現金同等物の増減高	△ 809,681
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,985,251
VI 合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	365,578
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,541,148